

全国学力・学習状況調査の結果について

(令和元年度版)

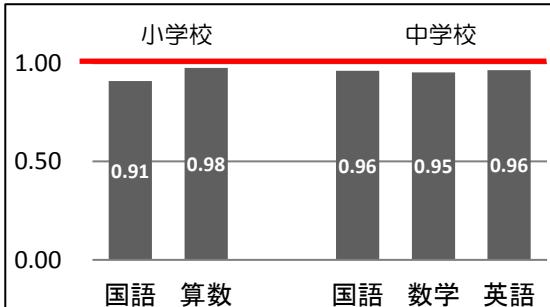
大阪市教育委員会

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査は、平成31年4月18日(木)に、小学校6年、中学校3年の全ての子どもたちを対象として国語、算数・数学、英語の3科目で学力調査が行われるとともに、学習状況について、質問紙調査が行われました。

大阪市の子どもたちの結果

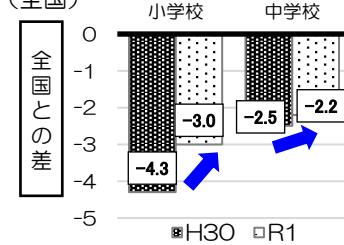
学力調査の結果から

全国の平均正答率を1とした大阪市の平均正答率

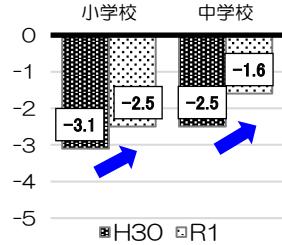


成果

《書く力を問う問題》

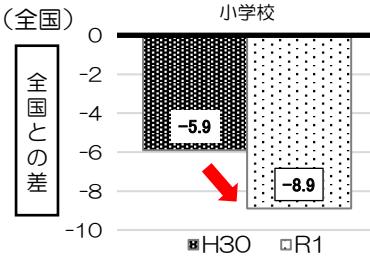


《数学的に考える問題》



課題

《漢字や接続詞などを問う問題》



(例) 小学校国語

かんしんをもつ → 関心をもつ
(誤答: 感心 62.1%)

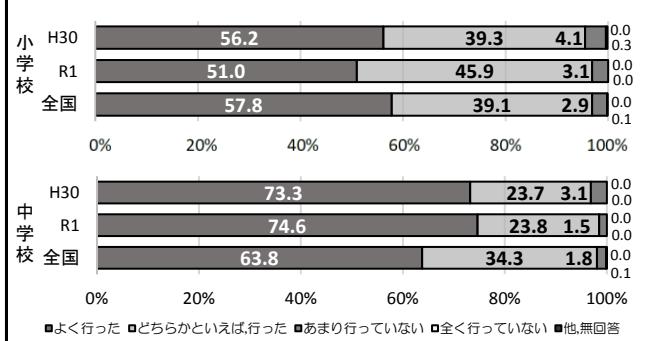
小学校国語において、同音異義語に注意して漢字を文の中で正しく使うことに課題が見られました。

質問紙調査の結果から

成果

学習規律を徹底した学校が、小中学校ともにやや増加しており、特に中学校は全国を上回っています。

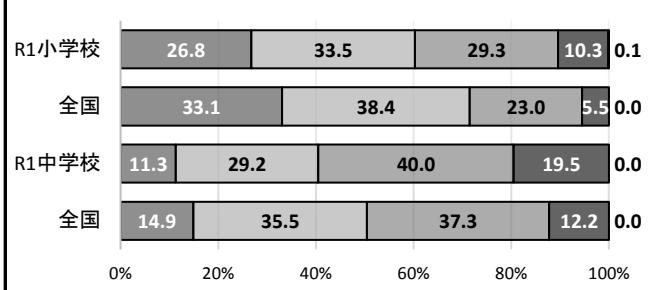
学習規律の維持を徹底しましたか (学校による回答)



課題

家庭学習習慣の定着は小中学校ともに全国を下回っています。

家で自分で計画を立て勉強をしていますか (子どもによる回答)



学校ではこのような取組をしています

- これまでの各種学力調査の結果から、本市の子どもたちの苦手分野だった「書く力」や「数学的に考える力」に重きをおいた「振り返りプリント」を実施するなどの取組を進めた結果、前年度より改善傾向が見られました。
- 授業における学習規律(話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業のチャイムを守るなど)の徹底を行ってきました。
- これから子どもたちに求められる資質・能力の育成に向け取組を進めています。

ご家庭でのご協力もよろしくお願いします！



- 家庭学習の内容や時間について、計画を立てて取り組めるようにお子さまと話し合ってください。
- お子さまが主体的に学習したときは褒め、つまずいたときは励ましてあげてください。
- 日頃からニュースや新聞記事などその日のできごとを話題にして、「どう感じた?」「どう考えた?」などの会話を通じて、自分の思いや考えを伝える機会を増やしてあげてください。